

ご家庭でのストーブ火災にご注意！！

岐阜市消防本部

冬の季節はストーブ火災による火災が増加します。

電気ストーブは、裸火を使っていないという安心感や、給油等の手間がかからないことから、使用者の注意不足による火災が多く発生しています。

また、石油ストーブ、石油ファンヒーター等による火災も多く発生していますので、下記の対策を再確認し、火災を予防しましょう。

● ストーブの周りは、常に整理整頓をする

布団、衣類、雑誌などの可燃物が電気ストーブの近くに置いてあると、ふとしたはずみで可燃物がストーブに接触し出火する恐れがあります。



● ストーブの近くでスプレーなどを使わない

化粧品や塗料、殺虫剤などのスプレー缶や引火性の溶剤を使った接着剤などは、引火や爆発の危険があるので、ストーブの近くで使用してはいけません。



● 寝るときは必ずストーブを切る

ストーブをつけたまま寝ると、寝返りをうった際などにストーブに布団が接触し出火する恐れがあります。



● 給油をする際にはストーブを切る

給油をする際には、必ずストーブを切ってから行ってください。また、給油の際にこぼれてしまった灯油をそのままにしておくと、引火して火災になる恐れがありますので、すぐに拭き取ってください。



● カートリッジタンクの口金はきちんとしめる

石油ストーブのカートリッジタンクに灯油を補給した後、口金を完全に締め付けずにそのまま石油ストーブにセットしようとしたため、口金が外れ、漏れた灯油がストーブにかかり出火するケースが多く発生しています。



● 布団、カーテン、ふすまなどの燃えやすい物のそばではストーブを使用しない

ストーブは、壁、カーテン、ふすま、障子などから十分な距離をとってください。

● ストーブの近くに洗濯物などを干さない

ストーブの上部や周囲に洗濯物を干さないでください。

気づかないうちに、ストーブに落下したり接触して出火する恐れがあります。



●誤給油に注意

ガソリンや軽油を、灯油と間違えてストーブに給油し、火災になる事例がおきています。

・ 誤給油を防ぐには

1. 油の種類によって容器の色や形状を変える。
2. ガソリンは必ず専用の金属容器で保管する。
3. 給油する前に燃料の色を確認する。(灯油は無色透明です。)
4. 灯油の保管場所と他の油の保管場所を変える。
5. 家族にも灯油と他の油の置き場を徹底する。



<岐阜市消防本部>

岐阜中消防署 058-262-7165

岐阜北消防署 058-231-5308

予防課

058-262-7163

岐阜南消防署 058-272-2012

瑞穂消防署 058-327-0119